
サヨナラを告げて...

成宮真琴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

サヨナラを告げて…

【Nコード】

N3351X

【作者名】

成宮真琴

【あらすじ】

私を愛して。

愛せないと言っのならアナタから別れを告げて

その？

アナタを愛していた。

この胸が焦がれるくらいに。

大好きだった。

アナタ以外愛せないと思った。

でも、アナタはそんな事ないのでしょ？

だって、アナタは私以外の人ばかり愛すのだから。

私達、付き合ってるんじゃないの？恋人同士なのでしょ？

なのにどうして浮気ばかりするの？

愛していないのなら、私以外の人を好きになるのなら、アナタから別れを告げて。そしたら、未練なんか持たずにサヨナラをするから

私から、別れを告げることなんて出来ないのだから

その？

ああ、まただ。

またアナタは私以外の人と並んで歩いている。

私じゃない人を。

それがどんなに私を気付つけているかも知らずに。

貴方は気づいたりもしないけど街中や人混みの中にいたって私はすぐ、貴方を見つけられる。

だって貴方は目立つもの。格好いいから。

私とは釣り合わない事は分かっているの。

でも、でもね。私は貴方を嫌いになったり、私から別れ告げる事は出来ない。

だって、愛しているから。

だから、例え貴方から別れを告げられても、愛してるって言うてくれなくても、私は貴方を嫌いになれない

その？（後書き）

誤字脱字があれば、言っておきたい m () m

彼氏視点(前書き)

彼氏視点です。

彼氏視点

俺には、彼女がいる。しかし、彼女とはあまりデートやsexなどは、一度もしていない。

なぜかって？

それは、彼女には『彼女』という立場にいてもらうだけでいいからだ。そうすれば、色々な女達と遊べるからだ。まあ、色んな意味だが。

でも、唯一求めているものは、『癒やし』かもしれない。

彼女が側にいれば、落ち着くし、気が休まる。

まあ、俺の周りには派手な女しかいないので彼女の存在は大切だ。

そう。大切なんだ。

何だかんだと言っても、俺は彼女を大切にしている。

だから、彼女が傷ついていた事なんて分からなかった

彼氏視点（後書き）

如何でしたかな？

感想お待ちしてます！

彼氏視点(前書き)

一週間も間が空いてしまつてすみませんm()m
今度は、一週間以内に更新しようと思ひますので、宜しく御願ひ
ます！

彼氏視点

ねえ、私を抱いて。

彼女と、久し振りにデートをした帰りに彼女が言った。

俺は、一瞬動きが止まってしまった。

『な、なに急に変なこと言い出すんだよ。』

『変な事なんて言っていないわ。だって、私達付き合っているんだからsexしたっていいじゃない。』

『いや、そ、そうだけど…。俺、今日はそんな気分じゃないんだ…』

『嘘つき…』

彼女が何か小さな声で呟いた。

『え？なに？』

『ううん。何でもないよ…。分かった。やっぱり気分とかあるもんね。やっぱり私、女として見てもらってないんだね。うん…。分かったよ…。今日は、もう帰るね。バイバイ！今日は、楽しかったよ。また行こうね！』

彼女は、一気に喋ってから帰って行った。

彼氏視点(後書き)

感想お待ちしてます)

その？

私は、女として見られていないことに改めて思い知らされた。

抱いて

言わなければよかった。そうすれば、私は傷つかずに済んだのに。

でも、言わなければならなかった。だって、私は決めたから。《友達》として、貴方を愛して行くことを。

だから、サヨナラでわないの。これからも私は貴方の側にいるから。

でも、一応試してみたかった。

貴方が、私をちゃんと女として思っているかどうか。

だけど、そんな想いも木っ端微塵にされちゃったな。

私は、人形じゃないの。ちゃんとした、人間であり、女なの。

だから、私は貴方に最初で最後の我が儘を言うわ。

貴方の側で一生《友達》としていさせて。

例え、貴方が天国へ行ってしまうても。私は、ずーっと側に居るわ。

彼氏視点(前書き)

だんだん、彼女が狂ってきましたf^
|^
^
;

彼氏視点

友達に戻りましょう？

翌日、彼女から電話が来た。

まさか、昨日の事が関係してるんだらうか？

あの時の彼女の態度からしたらそうかもしれない。

だから俺は

『それは出来ない。』

とだけ言った。

でも、私は決めたの。貴方を友達として一生愛することを。

だから、これはサヨナラでわないの。また新しい形になっていくのよ私達の関係は。

恋人でも婚約者でもない、そんなものよりも、もっと大切な存在に。彼女は、最後に　だから、貴方はずーっとワタシノモノヨ。

と言って電話を切った。

彼氏視点（後書き）

この先、どんな結末になるのかが作者である私も分からなくなってきましたp)、 、 q)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3351x/>

サヨナラを告げて...

2011年10月29日01時07分発行